

来日前の日本語学習実態調査

宇根谷 孝子

アブストラクト

本研究の目的は2008年度に開発した入学前教育教材「日本語5つのとびらーサバイバル編」を中心として来日前の日本語学習の実態調査をすることである。アンケート調査には、アジア地域を中心に20カ国（韓国、中国、タイ、ベトナム、インドネシアなど）、149名の学生が協力してくれ、回収率は62.6%であった。

分析結果から、教材への満足度は72%と期待以上に高かった。IT基盤の整備、コンピュータの所有については、地域差、個人差があったが、インターネット・カフェなどを利用して約80%の学生がインターネット教材にもアクセスしたことがわかった。しかし、問題点も明らかになった。国別に見ると、他の地域・国に比べて、韓国入学生の満足度がかなり低かった。また、全体的に学習時間が少なく、過半数の学生が5時間以下で期待するほど長くなかったし、学習するコンテンツにも偏りがあった。

今後は、本調査結果を踏まえて問題点を改善し、学習ストラテジーを含めた包括的な入学前教育支援システムを確立していきたい。

キーワード：日本語教育、遠隔教育、入学前教育、ネットワーク教材、学習実態調査

1. はじめに

留学生が渡日前に日本語を勉強し、日本での生活全般における情報を得ることは、来日後の日本語力を効果的に高めるために、また、キャンパスライフへのスムーズな適応のために、ひいては留学全体を成功させるために、極めて重要である。

とりわけ、留学生が全学生のほぼ半数を占め、約80%の学生の入学時の日本語レベルが初級である立命館アジア太平洋大学（以後APUと称す）のような国際大学では、入学前に日本語及び生活へのレディネスを高めることが不可欠である。

本研究者が所属するAPUの言語教育センターでは、2000年4月開学当初よりコースブックやCDを入学予定者に送付し、入学前日本語教育に力を注いできた。さらに、入学前教育教材を含む日本語教科書は「日本語5つのとびら」という総合名称に統一し、市販化を進めている¹。本稿の主題である来日前の日本語学習実態調査とは、APUが2007年12月に市販し、2008年度春学期入学生に郵送した入学前教育教材「日本語5つのとびらーサバイバル編」や関連のインターネット教材がいかに学習されたのか、その実態を調査することである。具体的には、以下の疑問に答えることを目指す。

- 1) 満足度・・・教材を学習者は効果があると考えているのか。満足していないとしたら、どんな点を改善してほしいと考えているのか。
- 2) 学習実態・・・学習者は教材の何を、どのぐらいの時間を費やして学習しているのか。
- 3) インターネットへのアクセス・・・コンピュータなどのe-Learningに必要な装置・環境は整っているのか。

2. 入学前教育とは

学習実態調査の結果を述べる前に、日本語の予備教育と入学前教育との違いを簡単に説明する。

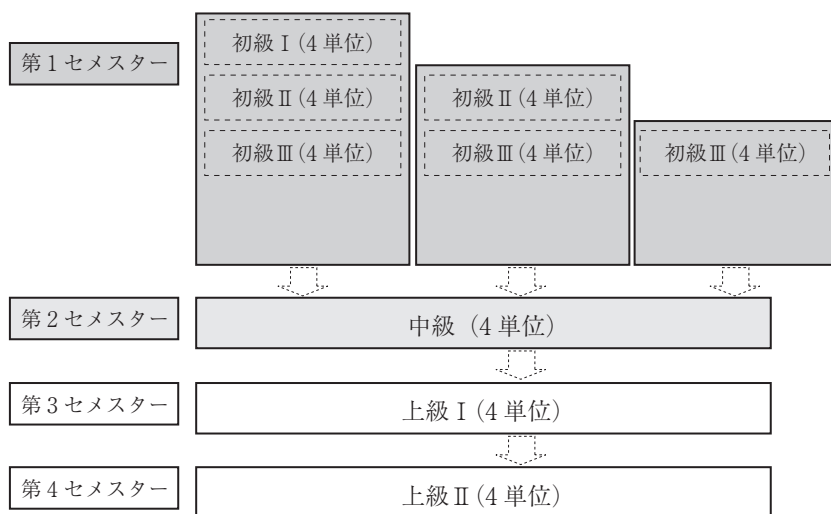
植松 (2005, P.999) によると、予備教育とは、「留学希望者が大学等の高等教育機関で支障なく教育を受けることができるための教育」である。

留学生が大学などの高等教育機関で支障なく教育を受けるためには、日本語能力、とりわけ、大学ではアカデミック目的の日本語能力が不可欠である。アカデミック目的の日本語能力を測るための試験として日本留学試験²がある。留学生は、自国で受験して一定の点数を取った場合は、直接正規生として大学に入学することも可能である³。到達しなかった場合は、1年程度の期間予備教育としての日本語を集中的に勉強する。予備教育は、一般的に大学入学前に留学生別科などで実施されている。

一方、APUは日英バイリンガル大学である。そのため、たとえ日本語が全くできなくても、アカデミック目的の英語能力があれば、正規学生として入学が可能である (以後、英語基準学生⁴と称す)。英語基準学生は講義科目を英語で受け、図1で示すように、日本語は1・2年次の2年間に集中的に勉強する。入学から2年後の到達目標はアカデミック目的の日本語であり、3・4年次には日本語で行われる講義科目も取れることを目指している。

要するに、APUが国内他大学と違う点は日本語教育が大学のカリキュラムの一部 (24単位) であるということである。従って、APUの留学生は入学後2年間という限られた時間内に、講義科目を英語で受けながら、同時に日本語を集中的に勉強しなければならないというAPU特有の学習者への負担がある。この負担をできるだけ緩和するために、入学が決まってからできるだけ早い時期に、自国で日本語やキャンパスライフへのレディネスを養うために、日本語教育を遠隔で実施している。これを留学生別科などで実施している予備教育と区別するため、入学前教育という。

図1：日本語カリキュラム (日本語必修科目)



(参考資料：『2008年秋日本語プログラムマニュアル』より)

3. 入学前日本語教育の内容

基本的に自己学習である入学前日本語教育の是非に関しては、日本語教員の間でも賛否両論があった。しかし、2年間という時間制限の中で、アカデミック目的の高い日本語レベルに達するためには、できる限り早い段階で学習を始めることが必要であるとの認識に立って入学前教育が実施されている。

入学前教育システムとは、従って、渡日前の日本語、日本での生活、キャンパスライフ全般におけるレディネスを高めることを目的として開発された、APUおよび周辺コミュニティにおける生活場面のシミュレーションなどを含めた包括的な入学前学習支援システムのことである。システム全体としてはまだ開発途上ではあるが、現在までに開発された教材は以下の通りである。

<教材>教材は冊子と関連のインターネット教材からなる。

1) 冊子「日本語5つのとびら-サバイバル編」

冊子はパートIとパートIIからなる。

*パートI・・・日本語を全く知らない学習者を対象として、ひらがな、時間、数、カレンダー、お金、簡単なあいさつなどを教える。

*パートII・・・日本語を少し勉強したことがある初級学習者を対象とし、場面シラバスによる。日本到着から授業開始直前までのキャンパスや周辺地域を中心とした11の場面別（例 空港、APハウス、カフェテリア、オフィス、電車、買い物等）会話から成る。

2) インターネット副教材

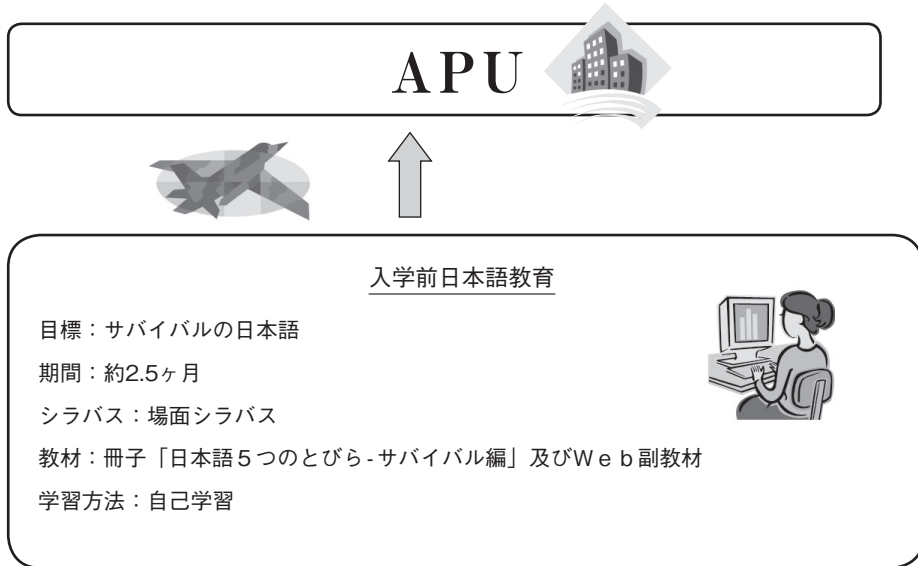
インターネット副教材は冊子の語句やモデル会話を音声・映像で提示し、会話や聴解練習に利用する。

<学習期間>各2.5ヶ月（春学期→1月初め～3月半ば、秋学期→7月半ば～9月末）

<学習方法>自己学習

<学習形態>遠隔（詳細は図2に）

図2：入学前日本語教育



4. 入学前日本語学習実態調査

入学前教育の効果や満足度を調べるため、2008年春学期入学者を対象にアンケート方式で日本語学習実態調査を入学後の同年5～6月に実施した。

4.1 調査の目的と方法

<目的>調査の目的は以下の通りである。

- 1) 学習者は教材を効果があると考えているのか。
- 2) 学習者は教材の何を、どのぐらいの時間を費やして学習しているのか。

3) コンピュータやインターネットなど学習に必要な条件は揃っているのか。

<方法>

実施期間：2008年5月23日（金）～6月16日（月）

形式： アンケート方式

方法：

- 1) インターネット「サーベイ」
- 2) 同じ内容のものを紙媒体でも実施

対象：2008年春学期入学生で日本語初級クラスに在籍する者、238名。

4.2 アンケートの内容

<言語>英語

<質問項目>アンケート用紙、各質問項目については、巻末添付[資料1]を参照のこと。

- 1) 学生について（名前、学籍番号、出身国、日本語のレベル）
- 2) 教材に対する満足度、学習時間、学習した項目
- 3) インターネットへのアクセス状況について
- 4) 教材の長所と問題点（記述式）

5. 結果分析

結果は以下3セクションに分けて報告する。即ち、回答者、学習実態、インターネットへのアクセス環境である。ただし、紙面の都合で、質問及び回答は主要なものを抜粋して報告する。

5.1 回答者

<回答者の概要>

回答者総数：149名

出身国総数：20カ国

回収率：62.6%（238名中149名が回答）

- * 全回答者149名の内、韓国からの学生が跳びぬけて多く65名（44%）で、約半数弱あった。次に多いのが中国20名（13%）、タイ16名（11%）、ベトナム10名（7%）、インドネシア7名（5%）で、バングラデッシュ6名（4%）、ネパール5名（3%）、ミャンマー4名（3%）からの回答もあった。他のアジア諸国では、スリランカ、モンゴル、香港、パキスタン、フィリピン、シンガポール出身者が回答した。また、キルギス、ウズベキスタンなどの東欧諸国や、ヨーロッパのノルウェー、中近東のサウジアラビア、アフリカのケニア、マラウイ出身者からの回答もあった。

出身国	人数	%	出身国	人数	%
韓国	65	44%	香港	2	1%
中国	20	13%	パキスタン	2	1%
タイ	16	11%	フィリピン	1	1%
ベトナム	10	7%	シンガポール	1	1%
インドネシア	7	5%	キルギス	1	1%
バングラデッシュ	6	4%	ウズベキスタン	1	1%
ネパール	5	3%	ノルウェー	1	1%

来日前の日本語学習実態調査

ミャンマー	4	3%	サウジアラビア	1	1%
スリランカ	2	1%	ケニア	1	1%
モンゴル	2	1%	マラウイ	1	1%

5.2 学習実態

ここでは、教材受け取りの有無、満足度、学習時間、項目別満足度などを調べた。

1) 教材の受け取り

質問：冊子は届いたか。

回答	人数／総数	(%)
はい	133名／149名	(89%)
いいえ	16名	(11%)

- * 教材が届いたかどうかという質問に関しては、89%の回答者が届いたと答えたが、11%の学習者は教材が届かなかったと答えている。届かなかった理由として韓国では、2名が住所変更のためと答えている。
- * 冊子の受け取りに関して、特に目立ったのが中国である。冊子を受け取れなかった学生が20名中12名（40%）もあり、他の国に比較して際立って悪かった。郵便事情なども想定されるが、理由は不明である。

出身国	人数	総数	%	出身国	人数	総数	%
韓国	60	65	92%	パキスタン	2	2	100%
タイ	15	16	94%	香港	1	2	50%
中国	12	20	60%	フィリピン	1	1	100%
ベトナム	10	10	100%	シンガポール	1	0	0%
インドネシア	7	7	100%	キルギス	1	1	100%
バングラデッシュ	6	6	100%	ウズベキスタン	1	1	100%
ネパール	5	5	100%	ノルウェー	1	1	100%
ミャンマー	4	4	100%	サウジアラビア	1	1	100%
スリランカ	2	2	100%	ケニア	1	1	100%
モンゴル	2	2	100%	マラウイ	1	1	100%

2) 満足度

質問：教材は日本語の自己学習に役に立ったか。

回答	人数／総数	(%)
はい	96名／133名	(72%)
いいえ	37名	(28%)

全般的な満足度

- * 教材が届いたと答えた回答者133名中、96名（72%）が教材は役に立ったと答えており、全般的な教材への満足度はかなり高かった。（満足の理由、教材の利点については、巻末添付[資料3]を参照のこと）。

国別満足度

- * 国別に満足度を見てみると、大変興味深い結果が得られた。タイ (87%)、中国 (100%)、ベトナム (100%)、インドネシア (86%)、バングラデッシュ (100%) など、殆どの国の学生は教材が「役に立った」と答えている。
- * しかし、韓国出身の学生は60人中31人 (52%) しか「役に立った」と答えていない。残り29名 (48%) の学生が満足していないことがわかった。

出身国	人数	総数	%	出身国	人数	総数	%
韓国	31	60	52%	香港	1	2	50%
タイ	13	15	87%	パキスタン	1	1	100%
中国	12	12	100%	フィリピン	1	1	100%
ベトナム	10	10	100%	キルギス	1	1	100%
インドネシア	6	7	86%	ウズベキスタン	1	1	100%
バングラデッシュ	6	6	100%	ノルウェー	1	1	100%
ネパール	5	5	100%	ケニア	1	1	100%
ミャンマー	2	4	50%				
スリランカ	2	2	100%				
モンゴル	2	2	100%				

韓国の学生の要望

- * 「役に立たなかった」と答えた全回答者 (ただし、冊子が届いた者) 37名中、韓国の学生は29名であり、実に78%を占める。韓国の学生は教材の何に満足していないのか、どんな改善を求めているのか。韓国人学生が教材に対してもっている問題意識を記述式による要望5から拾い上げて、コンテンツ、学習支援、レベルなどの項目に分けてまとめたのが以下である。

☆ 文法や語彙

- * 基本文法が必要。
- * 日本の生活だけでなく、日本語の授業内容も教科書の中に加えてほしい。
- * 日本語の基本的情報をもっと必要だ。

☆ 会話

- * 日本語学習への動機付けを強化するために、もっと興味のあるトピックにしてほしい。
- * もっと面白くしてほしい。
- * 量を詰め込むより、絵やおかしい場面をもっと加えておもしろくしてほしい。

☆ 学習支援

- * 自己学習には、練習問題をもっと必要だ。
- * 自己学習がしやすいように、改善してほしい。
- * もう少しインターアクションを増やしてほしい。

☆ レベル

- * もう少し簡単に。
- * もっとレベルの高い教材を送ってくれたら、さらにいい。

☆ その他の要望

- * 使い方を簡単にしてほしい。インターネットよりCDの方がいい。

- * テキストを代えたほうがよい。世界には日本語の教科書がたくさんあるから。
- * 改善点がたくさんある。

結果を見ると、学生たちの教材、学習支援に対する要求値は高く、入学前でも APU の初級レベルのコンテンツや情報の提供を求めているようである。この期待値の高さや物理的、人的、社会的リソースが豊富であることが現教材に満足できない理由であると言える。

3) 学習時間

質問：この教材で総計何時間ぐらい勉強したか。

回答	人数／総数 (%)
1 時間以下	30名／133名 (22.6%)
1 時間以上 5 時間以下	43名 (32.3%)
5 時間以上 10 時間以下	19名 (14.3%)
10 時間以上 20 時間以下	11名 (8.3%)
20 時間以上	8名 (6.0%)
回答なし	22名 (16.5%)

- * 学習時間は 5 時間以下が学習者の過半数 (55%) を占め、その半数弱は勉強時間 1 時間以下であった。教員が期待したほど勉強時間は長くなかった。

4) コンテンツ別満足度

<パート I >

質問：どのセクションを勉強したか (複数回答可)。

役に立ったセクションはどれか (複数回答可)。

	勉強した		役に立った	
	人数	%	人数	%
パート I				
ひらがな	61	45.9	50	37.6
数	75	56.4	65	48.9
時間	65	48.9	64	48.1
お金	69	51.9	59	44.4
カレンダー	63	47.4	59	44.4
簡単なあいさつ	67	50.4	63	47.4

- * パート I に関しては、どのセクションも約半数 (45.9% から 56.4%) の学習者がまんべんなく勉強したと答えた。また、時間 (48.1%) や数の数え方 (48.9%) は役に立ったと答えたものが半数近くいた。

<パート II >

質問：どのセクションを勉強したか (複数回答可)。

役に立ったセクションはどれか (複数回答可)。

パート I I	勉強した		役に立った	
	人数	%	人数	%

バスの乗り場を聞く	55	41.4	46	34.6
空港でのあいさつ	54	40.6	37	27.8
バスの切符を買う	47	35.3	39	29.3
税関で	46	34.6	35	26.3
タクシーに乗る	44	33.1	41	30.8
駅で	40	30.1	36	27.1

(上位6セクションを記載)

- * パートIIを勉強した人は、パートIより少なかった(12.0%~41.4%)。また、勉強した場面にもばらつきがあり、最初の章(例 第1章「空港で」や第2章「空港から市内へ」)に集中した。場面の中では「バスの乗り場を聞く」、「タクシーに乗る」など乗り物に関する会話が役に立ったようだ。

5.3 インターネットへのアクセス環境

1) コンピュータへのアクセス

質問：コンピュータにアクセスできたか。

回答	人数/総数	(%)
はい	121名/133名	(91%)
いいえ	12名	(9%)

- * 回答者の91%がコンピューターにアクセスできたと答えた。アクセスできなかったと答えた率が他と比べて大きかった国はネパール、バングラデッシュ、ミャンマーである。ただし、出身者が各国1名の場合はアクセスできなかった率が大きくても判断からは除外した。

国別回答

国	はい	%	いいえ	%
韓国	60	92%	5	8%
タイ	15	100%	0	0%
中国	12	100%	0	0%
ベトナム	10	100%	0	0%
インドネシア	7	100%	0	0%
バングラデッシュ	4	80%	1	20%
ネパール	4	80%	1	20%
ミャンマー	3	75%	1	25%
スリランカ	2	100%	0	0%
モンゴル	2	100%	0	0%
香港	1	100%	0	0%
シンガポール	0	0%	1	100%
フィリピン	0	0%	1	100%
パキスタン	1	50%	1	50%
キルギス	1	100%	0	0%
ウズベキスタン	1	100%	0	0%
ノルウェー	1	100%	0	0%

来日前の日本語学習実態調査

サウジアラビア	0	0%	1	100%
ケニア	0	0%	1	100%
マラウイ	1	100%	0	0%

質問：どこでコンピュータを使ったか。(複数回答可)

* 韓国、タイ、中国、ベトナム、インドネシアの学生は、家にあるコンピュータを使ったと答えたが、ネパール、バングラデッシュ、モンゴルでは、インターネット・カフェでコンピュータを使ったという学生の方が多かった。E-Learning学習条件という面では地域差があることは事実だが、インターネット・カフェの普及で世界の多くの地域でアクセスが可能であることがわかる。

国	家	%	インターネット・ カフェ	%	学校	%	図書館	%	その他	総数
韓国	46	90%	2	4%	3	6%	0	0%	0	51
タイ	13	87%	1	7%	1	7%	0	0%	0	15
中国	10	83%	0	0%	0	0%	1	8%	1	12
ベトナム	10	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	10
インドネシア	7	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	7
バングラデッシュ	2	40%	3	60%	0	0%	0	0%	0	5
ネパール	1	25%	3	75%	0	0%	0	0%	0	4
ミャンマー	3	75%	1	25%	0	0%	0	0%	0	4
スリランカ	1	50%	1	50%	0	0%	0	0%	0	2
モンゴル	1	33%	2	67%	0	0%	0	0%	0	3
香港	1	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	1
キルギス	1	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	1
ノルウェー	1	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	1
マラウイ	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%	0	1
パキスタン	1	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	1
ウズベキスタン	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%	0	1

2) ファイルへのアクセス

質問：ファイルを開けることができたか。

回答	人数／総数	(%)
はい	95名／121名	(79%)
いいえ	20名	(21%)

* コンピュータにアクセスできた学生の中でファイルを開くことができたのは、78.5%で残りは何らかの理由でファイルを開覧することができなかったと答えている。

質問：(ファイルを見ることができなかったと答えた人へ) ファイルが見られなかった理由は何か。

ファイルが見られなかった理由	人数	%
開くことができなかった	3	15%
開くことはできたが、時間が長くかかり過ぎた	14	70%

音が聞こえなかった	2	10%
その他	1	5%

- * 原因として使用しているコンピュータの機種やインターネットのバージョンによって、まったく開かなかったり、開くのに時間がかかったり、音が聞こえなかったりと、技術的なトラブルが発生した。ファイルの容量が大きい動画を使用しているため、トラブルが発生したことは予想できるが、機種やバージョンの情報が少ないため、原因は特定できなかった。

質問：(ファイルを見ることができたと答えた人に) ファイルを開くまでにかかった時間は？

ファイルを開くのににかかった時間	人数	%
10秒未満	37	39%
10秒以上30秒未満	44	46%
30秒以上	13	14%
無回答	1	1%

- * インターネット教材には動画ファイルが多く含まれているため、ファイルを開くのにかかる時間の長さも重要である。結果的には、10秒未満が39%、30秒未満が46%で、コンピュータにアクセスできた人の85%が30秒未満でファイルを開くことができた。これにより、動画を含むインターネット教材もアジアの大部分の国・地域で日本国内と同じような環境で提供できることがわかった。

6. 最後に

本調査では、入学前教育教材の満足度と技術的課題を探った。結果のまとめと今後の課題は以下の通りである。

6. 1 まとめ

満足度・・・学習者の教材への満足度は70%以上と高く、かなり多くの支持を得たと言える。しかし、国別に見ると、他の国の学生の満足度(86%～100%)と比較して、韓国の学生の満足度は52%でかなり低い。記述式回答からその理由を調べると、教材が豊富に手に入る韓国などでは、単に音声や動画による情報提供だけではなく、文法や語彙などを組み込んだより高度で複雑なコンテンツを入学前教育に求めており、文法説明や練習問題を含まない現教材を少し物足りなく思っていることがわかった。

学習項目・・・学習者が教材の何を勉強し、何が役に立っているかと思っているのかという疑問に関しては、ゼロ初級者向けのパートIは半数の学習者が勉強し、役立つと思っていることがわかった。日本到着から大学の授業が始まるまでに必要な場面を想定して作成したパートIIでは、日本に到着後すぐに必要な空港や乗り物での会話や挨拶は勉強しているが、全般的にパートIほど勉強していないことがわかった。

学習時間・・・学習時間は5時間以下が半数以上を占め、教員が期待した程学習していないことがわかった。今後改善の必要がある。

e-Learning学習条件・・・個人所有のコンピュータの普及とインターネットカフェなどの利用で世界の広範囲の地域でe-Learningの学習条件が改善されている。従って、日本語教材や人材に乏しい地域にも、音声、動画の使用による質の高いコンテンツを提供できることがわかった。アクセス時間、利

便性、経済性からデジタルコンテンツをインターネットよりもCDで提供してほしいとの要望があるが、もう少し様子を見たい。

6. 2 今後の課題

本調査の結果を踏まえ、以下の改善が必要であると考えます。

- 1) 短期的措置（理解度・学習効果の確認）・・・2008年度秋学期生に向けては、ひらがな練習帳を含む宿題資料を作成・送付し、来日後回収して自己学習の効果を確認する。
- 2) 長期的措置
 - 2-1) 効果及びニーズの精査（継続）・・・アンケート調査を継続して、入学前教育へのニーズを継続して調査する。
 - 2-1) 入学前教育システム全体の向上・・・調査の結果を教材のコンテンツに反映する。また、学習ストラテジーや学習環境の改善を含めた包括的支援体制を確立してシステム全体の向上を図ると共に、学習者の自立学習支援を強化する。

注

1. 「日本語5つのとびら」の「とびら」とは日本語習得過程で通過すべき段階を指し、「5つ」とはその段階が5レベル、即ち、サバイバル、初級、中級、上級I、上級IIの5レベルであると想定する。「サバイバル編」はその最初の段階である。
2. 独立行政法人日本学生支援機構（2005年更新ホームページ）によると、日本留学試験とは、「外国人留学生として、日本の大学（学部）等に入学を希望する者について、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力の評価を行うことを目的に実施する試験」である。2002年より年2回（6月及び11月）日本国内と国外で実施され、出題科目は、日本語、理科（物理・化学・生物）、総合科目及び数学である。
3. 独立行政法人日本学生支援機構（2005年更新ホームページ）によると、合否判定に関しては、日本留学試験の成績を主な判断材料として合否を決める大学もあれば、各大学が個別に実施する入学試験を受験することもある。もし個別の入試を課さない場合は、日本留学試験の成績と高等学校の成績等で入学許可を行うということである。
4. 英語基準学生とは、大学の講義科目を英語で受ける英語力（Toeflのスコア500点相当）を有し、APU入学後、講義科目を英語で受けながら、最初の2年間に日本語を集中的に勉強する学生のことである。
5. 巻末添付[資料4]を参照。

参考文献

- 植松清（2005）「留学のための日本語教育」『日本語教育辞典』大修館
- 宇根谷孝子・梅田千砂子・佐々木嘉則・福多文子（2005）平成14～16年度科学研究費補助金基盤研究(C)（2）『インターネットによる遠隔日本語予備教育システムの開発と効果の検証』研究成果報告書
- 田中望（1998）『日本語教育の方法—コースデザインの実際—』大修館
- 立命館アジア太平洋大学（2007）『日本語5つのとびら—サバイバル編』凡人社
- Kern, R. (2006). Perspectives on Technology in Learning and Teaching Languages. TESOL QUARTERLY Vol. 40, No. 1.

参考資料

独立行政法人日本学生支援機構 (2005年6月7日更新のホームページ)

http://www.jasso.go.jp/eju/whats_eju.html (2009年1月13日取得)

『2008年秋日本語プログラムマニュアル』立命館アジア太平洋大学言語教育センター

【謝辞】本調査は言語教育センターの教育研究プロジェクトの一環である。本稿をまとめるにあたっては、言語教育センターの先生方、並びに、アウトリーチオフィス担当者から多大な御尽力を賜った。ここで感謝の意を表したい。特に、アンケート用紙の作成、調査、データの処理にあたって貴重なアドバイスや協力をしてくださった以下の方々には重ねて感謝の意を表したい。

1. アンケートの質問項目作成に関しては、言語教育センター主任、梅田千砂子先生、副主任、本田明子先生、住田環先生、レベルコーディネーターの先生方(出口将、伊藤俊也、片山智子、小竹祐一、清水昭子、バーウィック妙子の各先生)から貴重なコメントをいただいた。
2. アンケート用紙の配布、回収に際しては、日本語初級担当の先生方(土師美佐子、平野マリ子、山田亜耶、西村まどか、高尾まり子、バーウィック妙子、星野智子、清水昭子、緒方綾季、住田環、渡辺若菜、梅田千砂子、菅智穂、秋口まどか、井上佳子、金居明生、後藤典子、小竹裕一、岡本輝彦、佐藤恵理、伊藤俊也、戸坂弥寿美、寺嶋弘道の各先生)に御協力をいただいた。
3. 膨大なデータの集計と整理にあたっては、教学部長秘書佐藤もとこさんに御協力をいただいた。ただし、本稿の内容に関する責任はすべて執筆者が負う。

【巻末添付】

[資料1] 入学前学習実際調査アンケート内容

Questionnaire on “Nihongo itsutsu no tobira - Survival version”

Please fill in blanks with the most appropriate answer or/and check them with “x”.

1. **Your student ID & Name:**

Student ID: ()

Name:()

2. **Country & hometown:** Which country are you from? What is your home town? Country

()

Hometown ()

3. **Your level of Japanese:** Which class of Japanese are you in now? Please indicate your class if you are now in Japanese Foundation Course.

() Japanese Foundation Course

Class ()

() Intermediate Japanese

() Advanced Japanese I

() Advanced Japanese II

() higher

Questions given below are those on the textbook “Itsutsu no tobira – Survival version” and its internet learning materials. In answering the questions, please recall what you studied with them in your country before coming to APU.

4. **The text book “Itsutsu no tobira – Survival version”**

4-1. Have you received the text book from APU?

() Yes () No

For those who answered “No”, please stop answering the questionnaire here. For those who answered “Yes”, please continue answering the following questions.

4-2. Comments on the content:

4-2-1. Was the textbook useful for your self-studies of Japanese?

Yes No

For those who answered “no”, please jump to the question 4-3. For those who answered “yes”, please continue answering the following questions.

4-2-2. Approximately how many hours did you study Japanese with this textbook? Please tell us the total amount of time that you spent

- Less than 1 hour
- More than 1 hour less than 5 hours
- More than 5 hours less than 10 hours
- More than 10 hours less than 20 hours
- More than 20 hours

4-2-3. Which sections did you study? Please check any sections that you studied.

		Studied
Part I		
Japanese Syllables		
Numbers		
Time Expressions		
Japanese Money		
Calendar		
Useful expressions		
Part II		
Ch1	1-1 Immigration	
	1-2 Greeting at the Airport	
	1-3 Money Exchange	
Ch2	2-1 Finding a Bus Stop	
	2-2 Purchasing a Bus Ticket	
	2-3 Taking a Taxi	
Ch3	3-1 Greeting the Dormitory Staff	
	3-2 Letting Staff at the Dormitory Show You Your Room	
	3-3 If You Have Problems	
Ch4	4-1 At the Station	
	4-2 At the Bus Stop	
	4-3 Buying a ticket	
Ch5	5-1 At the Co-op (Convenience Store/Supermarket)	
	5-2 Buying Electrical Appliances	
	5-3 Requesting a Delivery	
Ch6	6-1 At the University Cafeteria	
	6-2 At a Fast Food Restaurant	
	6-3 At a Restaurant	

Ch7	7-1 Purchasing Stamps	
	7-2 Mailing a Parcel	
Ch8	8-1 Inviting a friend	
	8-2 Borrowing a Tennis Racket	
	8-3 Going to a Pool to Swim	
Ch9	9-1 Making a Call from the Dormitory to a Friend	
	9-2 Calling 104 for a Telephone Number	
Ch10	10-1 Ambulance and Fire	
	10-2 Lost Items	
	10-3 Sickness/ Injury	
Ch11	11-1 Requesting Forms	
	11-2 Getting a Medical Check-Up	
	11-3 At the Entrance Ceremony/ Orientation	

4-2-4. Are there any sections which you think are useful? Please check any.

		Studied
Part I		
Japanese Syllables		
Numbers		
Time Expressions		
Japanese Money		
Calendar		
Useful expressions		
Part II		
Ch1	1-1 Immigration	
	1-2 Greeting at the Airport	
	1-3 Money Exchange	
Ch2	2-1 Finding a Bus Stop	
	2-2 Purchasing a Bus Ticket	
	2-3 Taking a Taxi	
Ch3	3-1 Greeting the Dormitory Staff	
	3-2 Letting Staff at the Dormitory Show You Your Room	
	3-3 If You Have Problems	
Ch4	4-1 At the Station	
	4-2 At the Bus Stop	
	4-3 Buying a ticket	
Ch5	5-1 At the Co-op (Convenience Store/Supermarket)	
	5-2 Buying Electrical Appliances	
	5-3 Requesting a Delivery	
Ch6	6-1 At the University Cafeteria	
	6-2 At a Fast Food Restaurant	
	6-3 At a Restaurant	
Ch7	7-1 Purchasing Stamps	
	7-2 Mailing a Parcel	

来日前の日本語学習実態調査

Ch8	8-1 Inviting a friend	
	8-2 Borrowing a Tennis Racket	
	8-3 Going to a Pool to Swim	
Ch9	9-1 Making a Call from the Dormitory to a Friend	
	9-2 Calling 104 for a Telephone Number	
Ch10	10-1 Ambulance and Fire	
	10-2 Lost Items	
	10-3 Sickness/ Injury	
Ch11	11-1 Requesting Forms	
	11-2 Getting a Medical Check-Up	
	11-3 At the Entrance Ceremony/ Orientation	

4-3. (Answer only if you checked “No” in 4-2-1.) Please tell us the reason(s) that you think it is not useful.

- () I did not have time to study.
 () Self-studying Japanese (without a teacher’s guide) was too difficult.
 () The content of the textbook was too difficult.
 () The content of the textbook was too easy.
 () Others ()

5.Your computer:

5-1. Could you access a computer in your country?

- () Yes () No

For those who answered “No”, please jump to the question 10. For those who answered “Yes”, please continue answering the following questions.

5-2. Do you know what the make and type of your computer is?

- () Yes () No

5-3. Please write the make and type of your computer (Ex. Hitachi Flora) if you answered “Yes” in 5-2.

()

5-4. Where were you using it?

- () At home
 () At an internet café
 () At school
 () At a library

(Other:)

5-5. What OS (Operating System) did you use?

- () Windows, () Macintosh, (Other)
 () I don’t know

6.Network:

6-1. What type of modem did you use?

- () Dial-up modem, () Cable modem, () ADSL modem
 () LAN (Other)
 () I don’t know

6-2. (Answer only if you checked "Dial-up modem")

What is the speed of your modem?

- 28 kbps, 56 kbps, (other _____)
 I don't know

7.Web browser:

7-1. What browser were you using?

- Netscape, Internet Explorer, (other _____)
 I don't know

7-2. Version of your Web browser?

- (_____) I don't know

8.Access to the internet materials:

8-1. Were you able to open the home page successfully?

- Yes No

8-2. (Answer only if you checked "Yes" in 8-1.) How long did it take?

- less than 10 seconds 10 to 30 seconds
 more than 30 seconds

9.Access to the files:

9-1. Were you able to browse any file(s)?

- Yes No

9-2. (Answer if checked "No" in 9-1.) Please tell us some reasons that you think you did not or could not browse the file(s).

- I could not open the file(s).
 I could open the file(s), but it took too long to open it.
 I could not hear sounds.
 The content of the file(s) was too easy.
 The content of the file(s) was too difficult.
 Others (_____)

For those who answered that they did not or could not browse the files, please jump to the question 10.

9-3. (Answer only if you checked "Yes" in 9-1.) How long did it take to open it?

- less than 10 seconds more than 10, less than 30 seconds
 more than 30 seconds

9-4. Sound: Were you able to hear sounds?

- Yes No

10.Your overall view on the "Nihongo itsutsu no tobira - Survival version".

10-1. What aspects of the "Nihongo itsutsu no tobira - Survival version" were good?

10-2. What aspects of the "Nihongo itsutsu no tobira - Survival version" should be improved?

Thank you very much for your cooperation!

来日前の日本語学習実態調査

[資料2] アンケート結果（紙面の都合で一部を抜粋して記載）

		Ch 1	1-3	Money Exchange					
			1-2	Greeting at the Airport		1	1		
			1-1	Immigration		1			
		Part I			Useful Expressions			1	1
					Calendar			1	1
					Japanese Money		1	1	1
					Time Expressions	1		1	1
					Numbers	1		1	1
		Japanese Syllables	1		1	1			
4-2-2.	4-2-2. Approximately how many hours did you study Japanese with this textbook? Please tell us the total amount of time that you spent			More than 20 hours	1				
				More than 10 hours less than 20 hours					
				More than 5 hours less than 10 hours				1	
				More than 1 hour less than 5 hours			1		
				Less than 1 hour		1			
4-2-1.	4-2-1. Was the textbook useful for your self-studies of Japanese?			No					
				Yes	1	1	1		
4-1.	4-1. Have you received the text book from APU?			No					
				Yes	1	1	1		
3-2.	3-2. class e.g. AA			AA	AD	AC	AC		
3-1.	3-1.class			Higher					
				Advanced Japanese II					
				Advance Japanese I					
				Intermediate Japanese					
				Japanese Foundation Course	1	1	1		
2-1.	2-1. country			Bangladesh	Bangladesh	Bangladesh	Bangladesh		
No	No			1	2	3	4		

[資料3] 記述式回答（好意的意見）（紙面の都合で一部を抜粋して記載）

**10-1 What aspects of the “Nihongo itsutsu no tobira
– Survival version” were good?**

1. Everything in this book is very useful for a student.
2. all of those
3. Yes that was good to learn Japanese.
4. very good
5. I think this book helped us to give a primary idea how to face immigration, to get the bus stop easily furthermore this book is more helpful for survival in Japan.
6. Yes, good
7. Yes
8. The structure of the book is very clear.
9. The vocabulary is good.
10. it's useful for daily life
11. vocabulary
12. It was a very useful book; many phrases that would be useful in daily life.
13. Japanese money
14. Its practicality and down-to-earth usage of Japanese
15. it contains the basic lessons to know about Japan
16. The situational learning method; like the ones teaching us about station situation; how to greet the dormitory staff; how to do this and that. That really how a survival book should be teaching us knowledge that we need to survive on our first days in Japan.
17. trying to give basic Japanese to new students
18. It Lets us know about the basics of Japanese Language; and an overview of the daily conversation
19. The book is good in at least every section but i got it too late till it was hard for me
20. To get any progress. its also difficult to come up with the study since you don't know actual pronunciation of some words e.g. 'masu' said as 'masi'
21. It is very interesting.
22. It introduces Japanese. Several conversation is included sorted into situations.
23. A good book for survival. Teaches useful words
24. I think it's little difficult to overall student who learn japanese first. so maybe easier thing is good .
25. the contents were useful for self-studying Japanese

[資料4] 記述式回答 (改善への要望) (紙面の都合で一部を抜粋して記載)

**10-2 What aspects of the “Nihongo itsutsu no tobira – Survival version”
should be improved?**

1. If this book is written only in hiragana and katakana then it will be better for the student.
2. it should be improved to convince Japanese easily.
3. ya; it should b improved
4. Yes, good
5. The lecture should be more popular with our everyday life.
6. The dialogue .
7. add some grammar.
8. more contents
9. dialogue
10. Given the amount of material; it is not easy to learn. Perhaps interface could be improved to make it easier?
11. I don't know
12. The online files can be a hassle. Many students; such as myself; do not have a good enough internet connection to be able to use the files effectively. Perhaps putting the files in a CD and making it part of the packet can solve this problem.
13. I don't know
14. I really think you should've mailed us the CD. Some countries (like mine) have poor internet connection. Even if we succeed opening the file; the format of the video may not be compatible for some computers; as we also may have other plug-ins to be installed yet. So please consider mailing the CD instead. It's better. Thanks!
15. Include the audio CD for us; the internet in some country is too slow to access it
16. I think the book is perfect so try and improve in delivery time. Also send it together with a audio CD that somebody can listen to and also watch.
17. Explanation can be more descriptive and intense. Situation can be more realistic and varied.
18. Only good for survival. The grammars were not good enough
19. to improve more interesting??
20. For beginners who don't even know hiragana such as myself, when they first face this book, it would not be so easy to look through it because it was quite hard for me to understand.
21. It should be improved for students who study by themselves